

各位

会社名
代表者名

太平洋興発株式会社
取締役社長 佐藤幹介

(コード番号 8835 東証第1部)

問合せ先

常務取締役経理部長 池本雅明

TEL (03) 5148 - 3212

平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年5月11日付で公表致しました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の個別並びに連結の通期業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 個別業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	18,000	540	400	△ 500
今回修正予想（B）	22,300	630	660	△ 630
増減額（B-A）	4,300	90	260	△ 130
増減率（％）	23.9	16.7	65.0	—
前期実績（平成19年3月期）	16,155	396	354	△ 229

2. 平成20年3月期 連結業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	29,000	1,100	1,000	0
今回修正予想（B）	33,600	1,220	1,380	△ 610
増減額（B-A）	4,600	120	380	△ 610
増減率（％）	15.9	10.9	38.0	—
前期実績（平成19年3月期）	24,895	881	834	7

3. 前記修正の理由は以下のとおりであります。

(1) 個別業績予想の修正理由

売上高は、分譲マンション販売が計画を下回ったものの、輸入炭の販売単価高騰と販売量の大幅増により予想を上回る見込みとなりました。

上記売上高の増加に伴う利益増と販管費の減により、営業利益は予想を若干上回る見込みとなりました。

経常利益は営業利益増に加え、支払利息の減他による営業外収支の改善により予想を大幅に上回る見込みとなりました。

当期利益は、投資有価証券売却益（約290百万円）があったものの、前期同様、債務保証損失引当金（約670百万円）を計上したこと、又棚卸資産評価減（約220百万円）、固定資産減損（約210百万円）、じん肺補償損失（約250百万円）を実施したこと等により、630百万円の損失となる見込みです。

(2) 連結業績予想の修正理由

個別増収減益影響と、一部連結子会社の固定資産減損実施（約500百万円）により610百万円の当期損失となる見込みです。

※上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果がある場合があることをご承知おき願います。